

科目名		看護解剖生理学Ⅲ 消化器系・腎泌尿器系・内分泌系・生殖器系 (消化・吸収・排泄・内部環境を整え、生殖を維持するしくみ)				DP4 DP6		看護高等課程	
学年	1年	分野	専門基礎 人体のしくみと働き	時間数	27 時間	担当 教員	武田 玲子 (14)、 小田倉 隆 (4.5) 武田 玲子 (8.5)		
科目概要	人体の解剖生理学の知識は、看護の重要な役割である日常生活行動の援助の土台となる。また、ほとんどの日常生活行動は、複数の器官が関与して行われる複雑な機能であり、生活行動の観点から学ぶ。ここでは、消化器系・腎泌尿器系・内分泌系・生殖器系の解剖生理から消化・吸収・排泄・内部環境を整え、生殖を維持するしくみを学ぶ。								
到達目標	1. 消化・吸収し、排泄するしくみを理解することができる。 2. 尿を作り老廃物を排泄するしくみを理解することができる。 3. 内部の環境を整えるしくみを理解することができる。 4. 生殖を維持するしくみを理解することができる。								
回数	単元項目		授業内容				形態	担当教員	
1～7	消化器系の器官		口腔、食道、胃、小腸、大腸、肝臓及び胆嚢、膵臓、腹膜の機能				講義	武田	
	消化器系の血液循環と神経		消化器系の血液循環、消化器系の神経						
	消化と吸収の生理		口腔、胃における消化、小腸における消化と吸収 大腸における吸収と排便、肝臓の働き						
	エネルギー代謝		3 大栄養素、基礎代謝						
	体温とは・体温調節		体熱の産生・放散、体温調節の仕組みと異常						
8～9	泌尿器系の器官 尿の生成と排泄の生理		腎臓（腎臓の構造と機能、尿の生成、血液成分の調節）、尿管、膀胱、尿道 尿、尿の生成、腎クリアランス、排尿				講義	小田倉	
	生殖器系の器官		女性生殖器、男性生殖器						
10～13	内分泌腺		甲状腺（甲状腺ホルモン・TSH・T3・T4） 副甲状腺（PTH） 下垂体（成長ホルモン、甲状腺刺激ホルモン 副腎皮質刺激ホルモン、性腺刺激ホルモン プロラクチン） 後葉（バソプレシン、オキシトシン）				講義	武田	
			副腎皮質（電解質コルチコイド、 糖質コルチコイド、ステロイドホルモン） 副腎髄質（アドレナリン、ノルアドレナリン） 松果体（メラトニン、ゴナドトロピン） 膵臓（インスリン、グルカゴン）						
14	試験		(1 時間)				試験		
評価基準	武田（消化器：50 点、内分泌：30 点）、小田倉（20 点）の合計 100 点満点とし、6 割以上を合格とする。 また、授業時間数の 3 分の 2 以上の出席が必要となる。								
評価方法	出席状況と講義への参加態度、筆記試験などで総合的に評価する。								
教科書	看護学入門 1 人体のしくみと働き 看護学入門 9 成人看護Ⅱ腎・泌尿器疾患患者の看護 必要時、資料等は配布する。								
履修上の 注意点									